

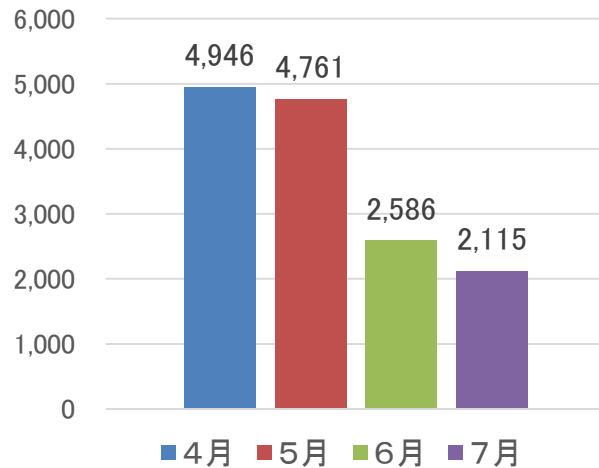
新型コロナウイルス感染症にかかる心の健康相談に関する精神保健福祉センターの対応状況

新型コロナウイルス感染症にかかる心の健康相談について、令和2年7月に精神保健福祉センターで電話相談を受けた件数及び内容は以下のとおり。

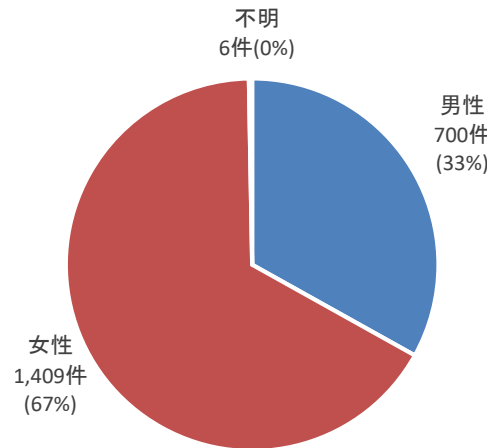
【相談件数】

○都道府県・政令指定都市の精神保健福祉センター（69箇所）での相談件数 2,115件（前月比 ▲471件）

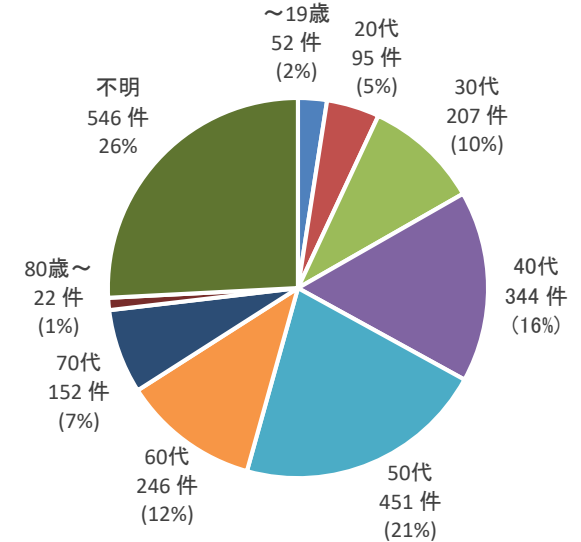
＜4月～7月の件数推移＞



＜7月男女別件数・割合＞



＜7月年齢別件数・割合＞



【主な相談内容】

○心の不調

- ・感染に対する不安
- ・コロナウイルスの報道ばかりで気が滅入る
- ・不安で眠れない
- ・うつ状態になり、やる気がおきない
- ・不安で精神症状が悪化
- ・先が見えず、今後どうなるか不安
- ・PCR検査の受検や、感染の疑いに対する周囲の反応で、心が壊れてしまいそう

○生活に関する不安、ストレス

- ・失業や収入の減少で、生活が不安
- ・飲酒量の増加
- ・家族が在宅勤務で家にいることによるストレス
- ・オンライン授業になじめず、うつ状態になった
- ・自粛により、ネットやゲームばかりしている子どもが心配

○外出や通院、通勤等に関する不安、ストレス

- ・外出自粛によりストレスがたまる
- ・通院先に感染者がいるのではないかと不安
- ・通勤時や職場で感染しないか不安
- ・県外からの帰省に対する不安
- ・他者の感染症予防対策に対する不安

※相談を受けた結果、治療が必要な方については医療機関に、生活困窮の相談や職場に関する相談などについては、関係の相談窓口につなぐ対応を実施。

※2月7日～3月31日までの相談件数は、1,742件